

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第15号 地域未来塾・地域学校協働本部版

2019年2月26日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



千葉県教育委員会では、地域と学校がパートナーとなり、地域全体で子供の成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進しています。今回は「地域未来塾」と『地域学校協働活動推進』に係る文部科学大臣表彰」を特集していきます。

「地域未来塾」～地域のかで学力UP!～

地域未来塾とは？

教員OBや大学生など地域住民等の協力により、中学生等に対して学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的とした原則無料の学習支援です。

実施している市町村は？



千葉県では平成27年度から、国・県の補助事業「地域学校協働活動推進事業」の一つとして「地域未来塾」が始まりました。年々、実施市町が増えていきます。

平成30年度は、7市町26カ所で地域未来塾が実施されています。

- ・浦安市（9） ・松戸市（1） ・野田市（11） ・流山市（1）
- ・酒々井町（1） ・栄町（1） ・茂原市（2） ※政令市・中核市を除く



「茂原市」の取組紹介！

茂原市では、学習習慣の確立と学力の向上を目的に、平成30年度から南中学校、東中学校の2つの中学校において、自主的な学習をサポートする地域未来塾を実施しています。

- ・対象：中学3年生で勉強に本気で取り組める者（希望者）
- ・実施日：平日と土曜日の週2回（各1時間半）
- ・実施場所：公民館、福祉センター
- ・学習内容：数学のプリント学習（個別学習）
- ・講師：教員OB等の地域住民



参加者の声

- ・勉強をする習慣が身についたことがよかった。
- ・家で勉強するよりも、集中して取り組むことができ、わからないことを気軽に質問できる場になっていることがよかった。



「地域未来塾」についてもっと知りたい方は
(文部科学省・厚生労働省合同ホームページ)
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学び未来 で検索

「地域学校協働活動」推進にかかる 文部科学大臣表彰について

この表彰は、幅広い地域住民等の参画により、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）のうち、その内容が他の模範と認められる取組に対し、文部科学大臣が表彰を行うものです。

平成30年度に受賞された2つの活動を御紹介いたします。



秋津小学校パートナー会議（習志野市）

学校と地域をつなぐ「パートナー会議」 － 子どもと大人が楽しく学ぶ場 －

秋津小学校パートナー会議は平成14年度から活動をスタートした、県下でも有数の実績のある団体です。80名を超える豊富な地域ボランティアの協力により、「学習支援」「安全支援」「環境支援」「情報支援」の4部会の支援ボランティアが組織され、授業補助、登下校の見守り、ビオトープ整備、パソコンクラブの支援など多様な活動が行われています。

地域主催の「秋津まつり」では、子供たちが地域の方から習った伝統踊りを披露し、祭りの盛り上がりにも貢献しました。

学校からは「子供たちの学びや体験活動が充実した」「地域の伝統や文化の継承に対する興味が深まった」との感想が上っています。

5年生の活動
「米作り」
ビオトープに隣接した田にて



「秋津小学校と地域の大運動会」
地域の方による
5・6年生のソーラン節生演奏

第六中学校ブロック地域学校協働本部（市川市）

学校・家庭・地域の連携を目指して、 子供たちを地域ぐるみで育む！！

第六中学校ブロック地域学校協働本部は中学校区の地域活性化や学校間のネットワーク化を図るべく、第六中学校、鬼高小学校、稲荷木小学校の3校合同の本部として組織されました。

地域行事や学校行事等が掲載された「コミュニティカレンダー」を作成したり、地域のお祭りに出店したりして本部の認知度アップに向けた活動にも力を注ぎ、ボランティア人材の確保に効果を上げています。

「道徳支援実践講座」は地域全体で「いじめ」の未然防止をめざす市川市独自の取組です。中学校の道徳の時間に地域の方が支援者として子供たちと一緒にいじめ問題を考え、意見を交換し合う貴重な時間となっています。

「道徳支援実践講座」で生徒と談笑する統括的な地域学校協働活動推進員



地域の祭りに出店して地域学校協働本部をアピール